

MultiWriter 8800 / MultiWriter 8700 / MultiWriter 8600 簡単操作ガイド

知りたい情報を探す

はじめに、 簡単操作ガイド	本機の設置手順、本機を安全にお使いいただくためのご注意、トラブル対処、および本体同梱メディア「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの使いかたについて説明しているマニュアルです。	- 本書 - 公式サイト
詳しくは、 ユーザーズマニュアル	本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しているマニュアルです。	「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク - 公式サイト
最新情報は、 サポート情報	プリント操作手順、トラブル対処、消耗品などに関するよくある質問を確認できます。また、マニュアルのダウンロードなどができます。NEC 公式サイトの「サポート・ダウンロード」からアクセスします。	公式サイト

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをお使いになる前に

ソフトウェアの使用許諾について

このメディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読み下さい。なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万が一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

ご使用条件

- 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

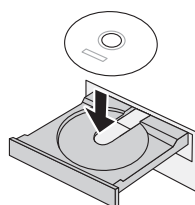
免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクでマニュアルを見る

Windows®

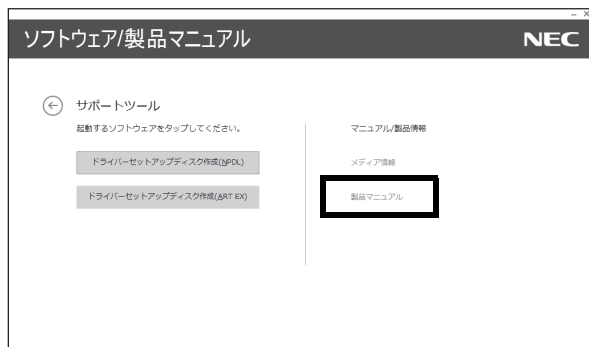
1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットする



2. [サポートツール/マニュアル] をクリックする



3. [製品マニュアル] をクリックする



4. [ユーザーズマニュアル] をクリックする



「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの活用
●本機の利用者がアクセスできる共有サーバーなどに、ディスクの内容をコピーして活用してください。

Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの以下の場所に格納されている index (index.html) をダブルクリックしてください。

[Manuals] > [Devicemanual] > [Japanese]

Web から最新情報を得る

サポート情報を確認する

1. 公式サイトにアクセスする

<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/index.html>

マニュアルを見る

1. ダウンロードページにアクセスする

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>

2. ダウンロードページ内の [マニュアル] をクリックする

3. お使いの機種をクリックする

4. 必要なマニュアルをクリックする

ソフトウェアをダウンロードする

1. ダウンロードページにアクセスする

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>

2. ダウンロードページ内の [プリンタドライバ] をクリックする

3. お使いの機種を選び、[決定] をクリックする

4. 必要なソフトウェアのリンクをクリックする

5. 内容を確認し、ページ下部からソフトウェアをダウンロードする

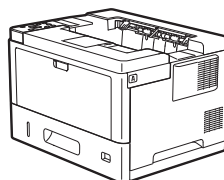
本機のセットアップ



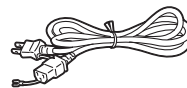
●本機をセットアップする前に、「安全にご利用いただくために (P.14)」をお読みください。

1. 同梱物を確認する

●プリンター本体



●電源コード



●保証書

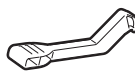
アクセサリキット

●「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク

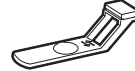


●簡単操作ガイド (本書)

●昇降レバー



●清掃棒



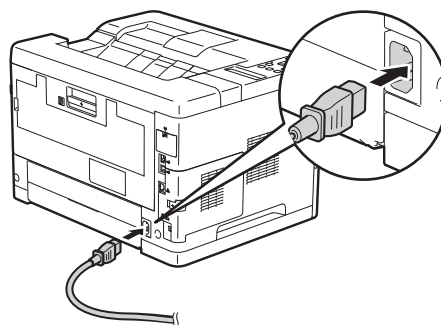
●固定用テープ (1 セット)



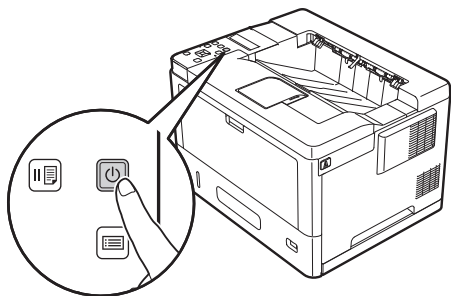
ビニール袋に入っています。

固定用テープを使って、ビニール袋を本機の右側面に固定してください。

2. 電源コードを接続する

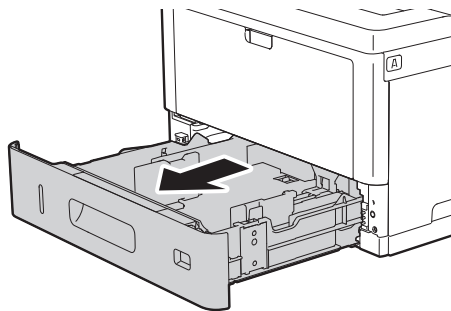


3. 本機の電源を入れる

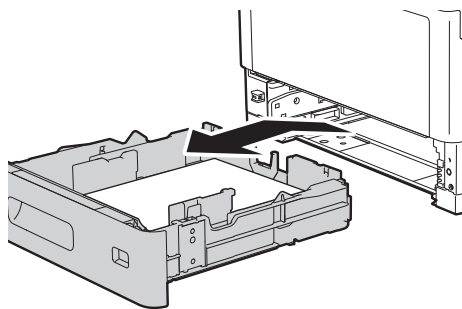


4. 用紙をセットする

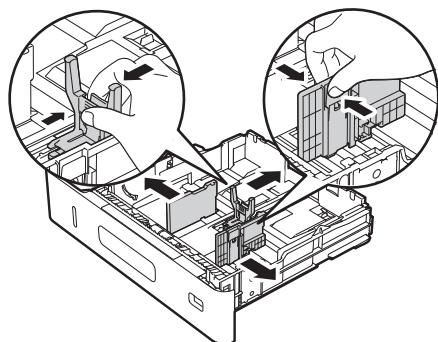
① トレイを引き出す



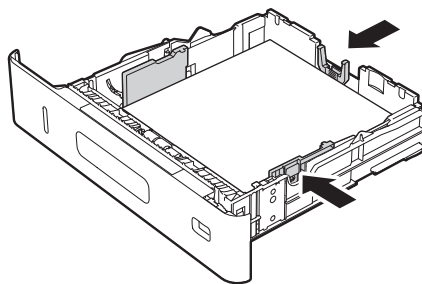
② トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜く



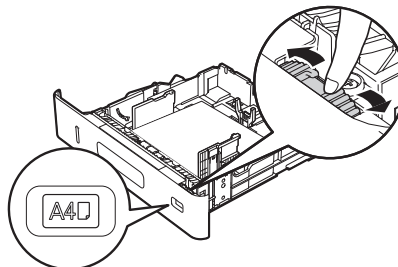
③ 2箇所の用紙ガイドをつまみながら、それぞれ用紙サイズに合った位置まで移動する



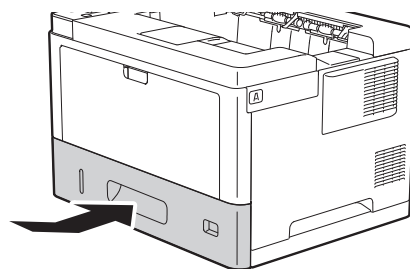
④ 用紙をよくさばいてから、プリントする面を下にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットする



- ① ● 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。
- ⑤ セットした用紙に合わせて、用紙サイズ設定ダイヤルを回す



- ① ● 用紙サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙のサイズと同じ用紙サイズに合わせてください。異なる用紙サイズに合わせると、用紙サイズを正しく認識できません。
- 用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを[*]に合わせ、操作パネルの「1」〈仕様設定〉ボタン> [プリント設定] > [ダイヤルスイッチ設定] で用紙サイズを設定してください。
- ⑥ 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込む



- ① ● トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

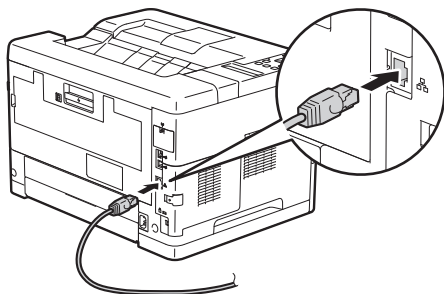
5. コンピューターに接続する

無線 LAN 接続

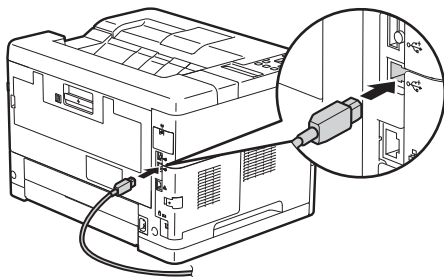


- 無線 LAN アダプタ（オプション）が必要です。『ユーザーズマニュアル』を参照してください。

有線 LAN 接続



USB 接続



ソフトウェアのインストール

Windows®

1. コンピューターに「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをセットする
2. [おまかせセットアップ] をクリックする



3. 画面の指示に従ってインストールを完了する

必要なソフトウェアだけを選んでインストールする場合は、[お好みインストール] を選びます。詳しくは、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクに格納されている『ユーザーズマニュアル』を参照してください。

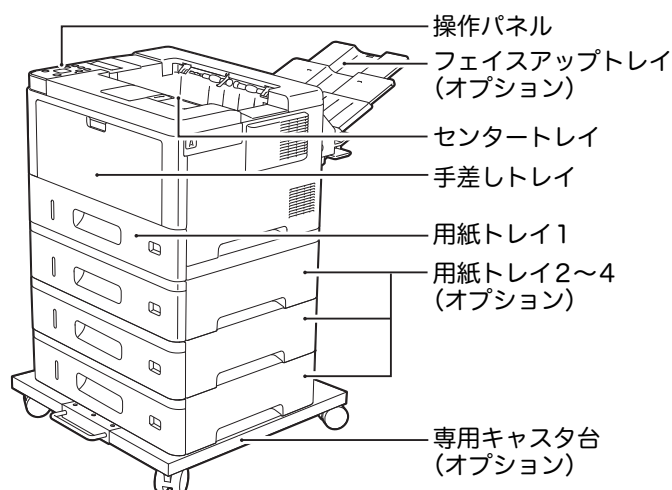
Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの以下の場所に格納されている Mac 用のマニュアルを参照してください。

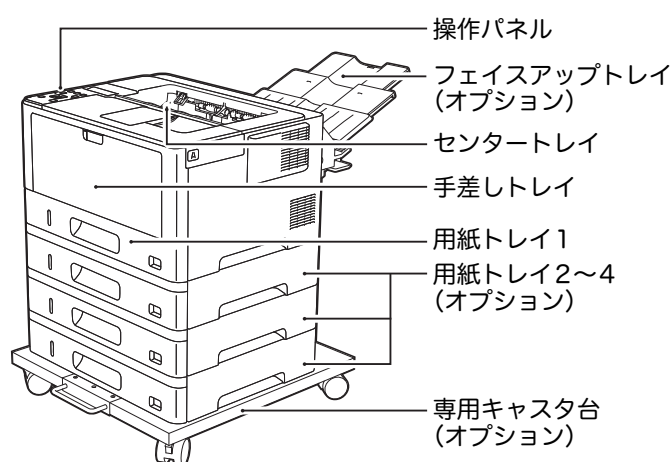
[Manuals] > [Mac] > [Japanese]

各部の名称

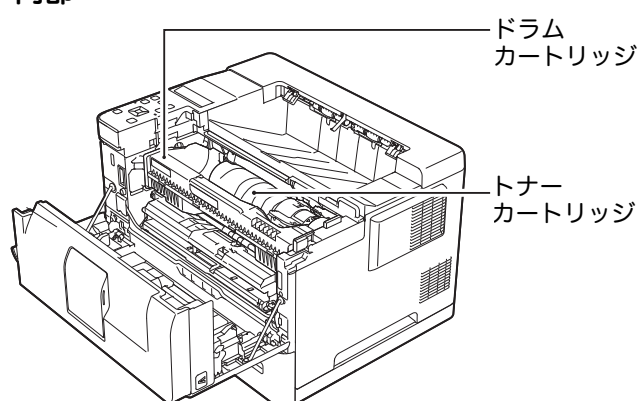
前面 (MultiWriter 8800)



前面 (MultiWriter 8700/MultiWriter 8600)



内部

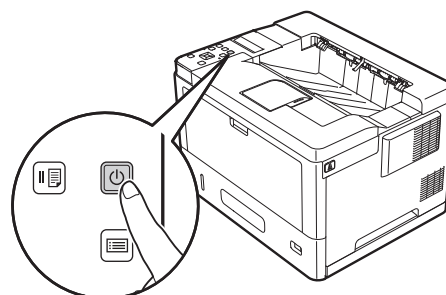


イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

電源について

電源を入れるとき

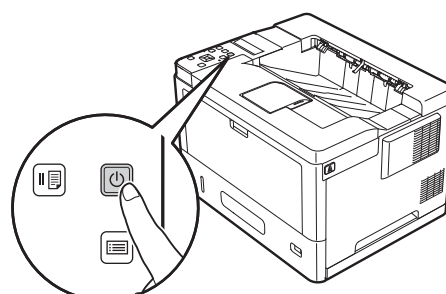
1. 電源ボタンを押す



電源を切るとき

- 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- プリント中は本機の電源を切らないでください。紙ぶまりの原因になります。
- 電源を切ると、本機内に残っているプリントデータや本機のメモリーに蓄えられた情報は消去されます。
- 電源ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフの処理をしています (電源ボタン点滅)。再度、電源を入れる場合は、電源ボタンが完全に消灯してから入れてください。
- 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、10 秒待ってから入れてください。

1. 電源ボタンを押す

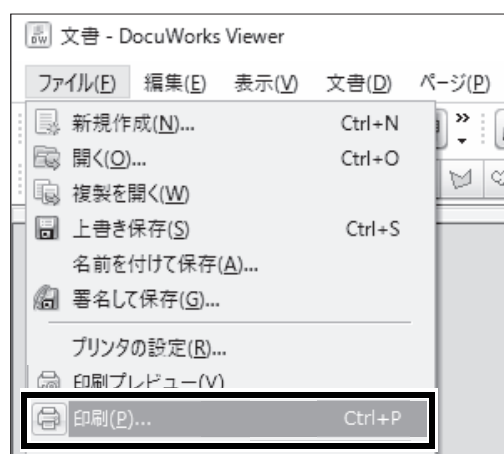


2. ディスプレイに「電源を切る」が表示されていることを確認し、OKボタンを押す

プリントのしかた

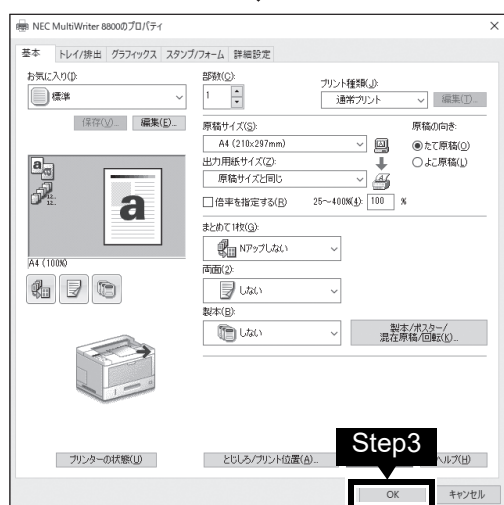
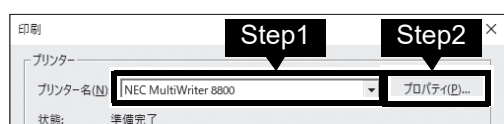
ここでは、Windows® 10 を例に手順を説明します。

1. コンピューターからプリントを指示する

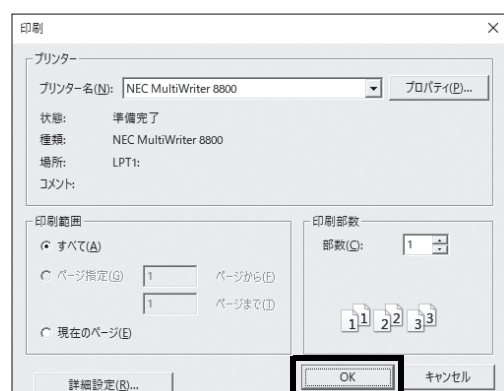


2. プリンターとプロパティを設定する

●必要に応じて、各タブで機能を設定します。



3. [OK] をクリックする

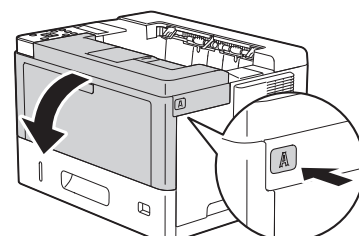


消耗品の交換

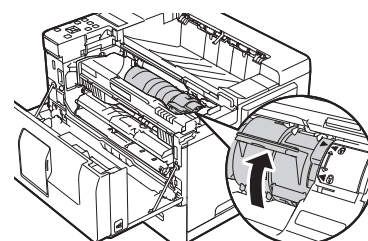
トナーカートリッジの交換

- トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。
- トナーカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

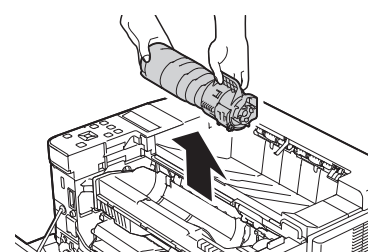
1. Aボタンを押してフロントカバーを開ける



2. トナーカートリッジの取っ手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除する

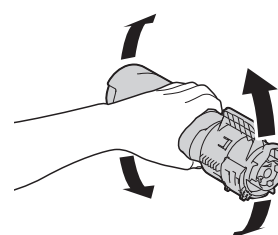


3. トナーカートリッジをゆっくり取り出す

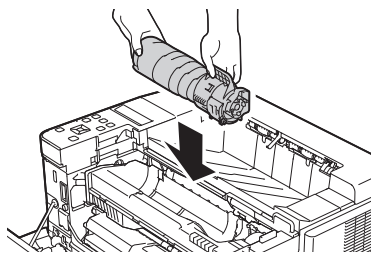


- 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

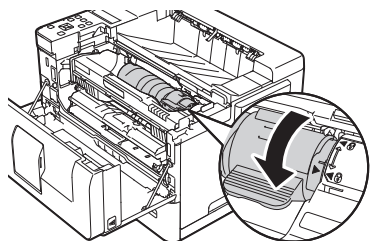
4. 新しいトナーカートリッジを用意し、軽く10回振る



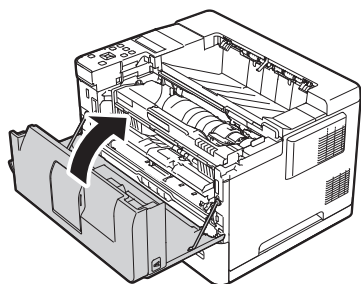
5. トナーカートリッジを本機にしっかり押し込む



6. トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックする



7. フロントカバーを閉じる

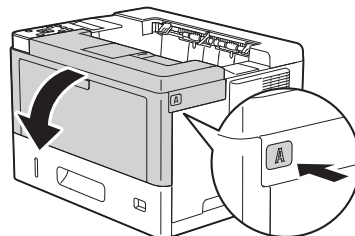


ドラムカートリッジの交換

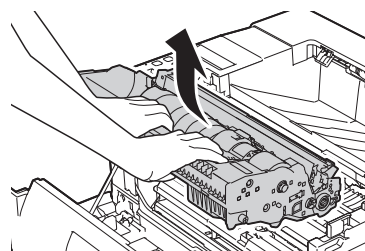


- ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。
- ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ドラムカートリッジは強い光にさらさないでください。印字品質が低下するおそれがあります。

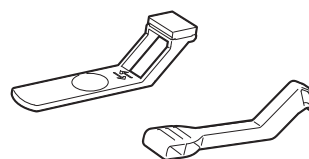
1. Aボタンを押して、フロントカバーを開ける



2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く

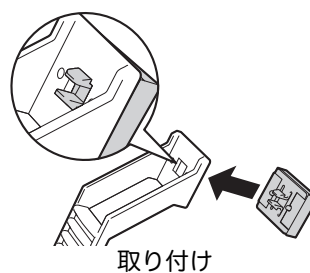
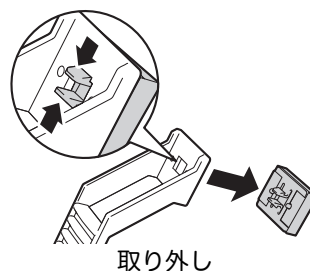


3. 本機に付属の清掃棒と昇降レバーを用意する



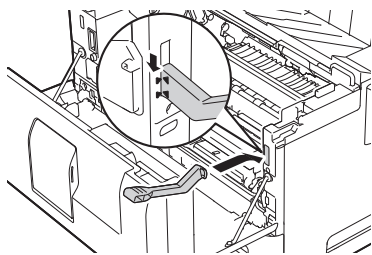
- 使用後は、無くさないよう大切に保管してください。

4. 清掃棒の清掃パッドを交換する

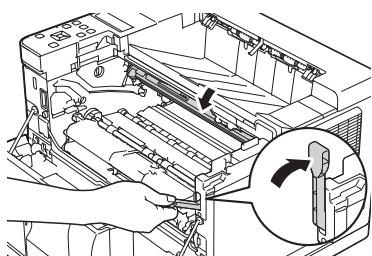


- 清掃パッドは交換用のドラムカートリッジに同梱されています。

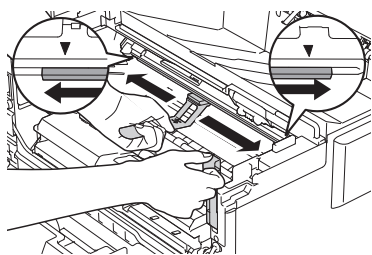
5. 本機の▲マークと合わせながら、昇降レバーを挿入する



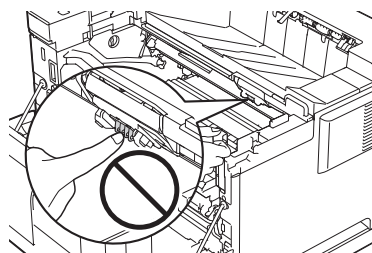
6. 昇降レバーを上げて、プリントヘッド部を下げる



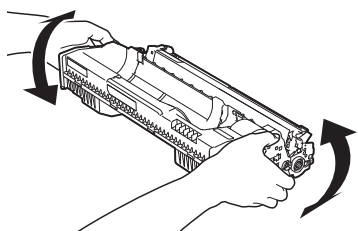
7. 清掃棒のパッド部分をLED プリントヘッド（黒いガラス部の下側）にあて、左右に一往復させて軽く拭く
清掃後は、昇降レバーを取り外す



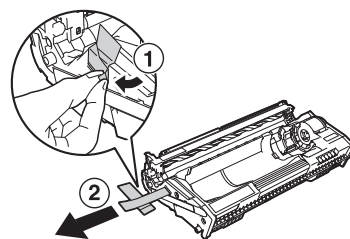
💡 ●端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



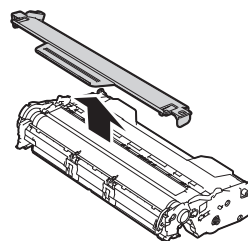
8. 新しいドラムカートリッジを用意し、8回振る



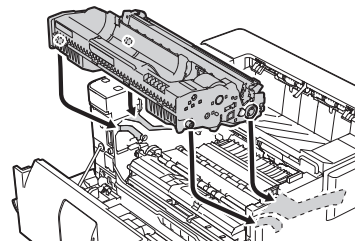
9. テープをはがし (①)、ヒートシールをまっすぐ引き抜く (②)



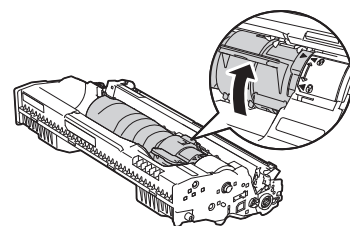
- 10.ドラムカートリッジを裏返し、オレンジ色の保護カバーを取り外す



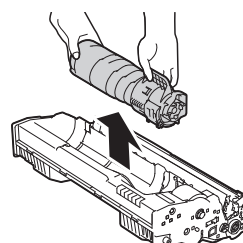
- 11.ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む



- 12.古いドラムカートリッジにセットされたトナーカートリッジの取手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除する

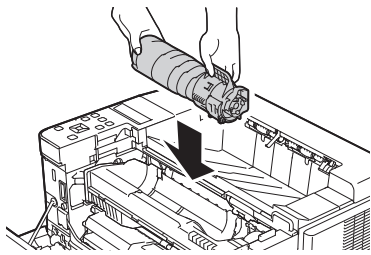


- 13.トナーカートリッジをゆっくり取り出す

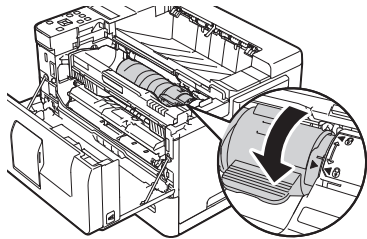


💡 ●使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

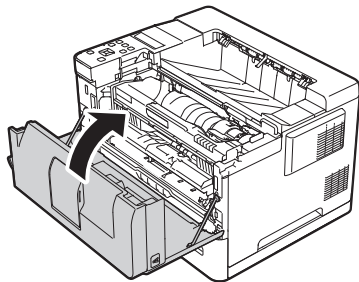
14.トナーカートリッジを本機にしっかり押し込む



15.トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックする



16.フロントカバーを閉じる



紙づまりの処置

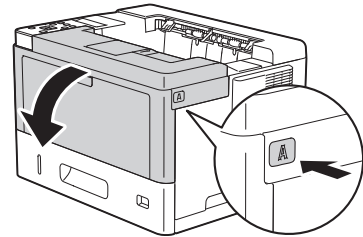
用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの[エラー]ランプが点灯し、ディスプレイにメッセージが表示されます。

紙づまりの位置を操作パネル左上の概観図で確認し、詰まっている用紙を取り除いてください。

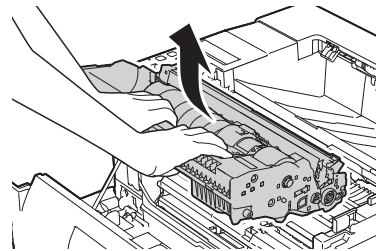
フロントカバー [A] での紙づまり

奥側に用紙が詰まっている場合

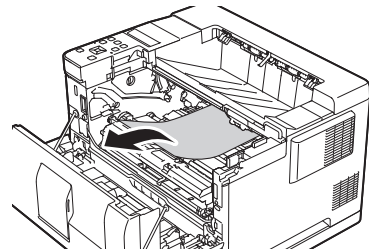
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



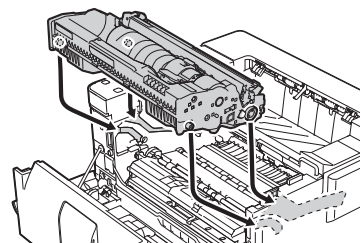
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



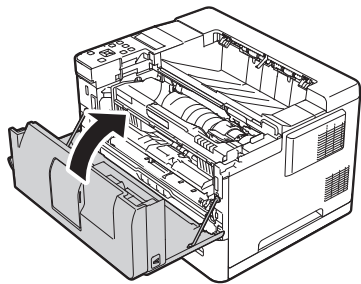
3. 詰まっている用紙を取り除く



4. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

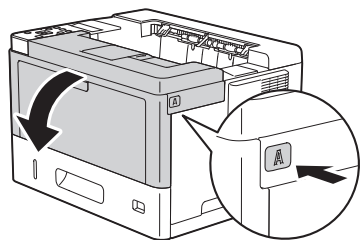


5. フロントカバーを閉じる

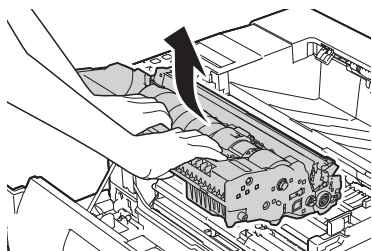


A1 部に用紙が詰まっている場合

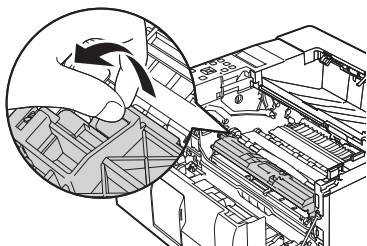
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



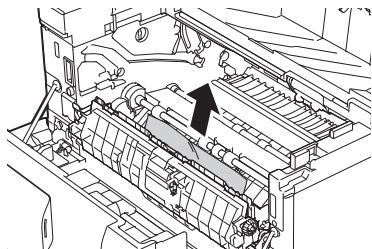
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



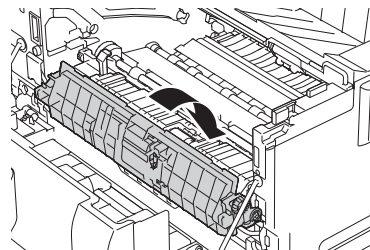
3. A1 部を手前に開け、閉じないように手で押さえる



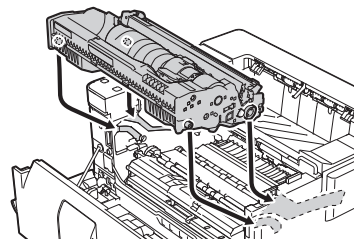
4. 詰まっている用紙を取り除く



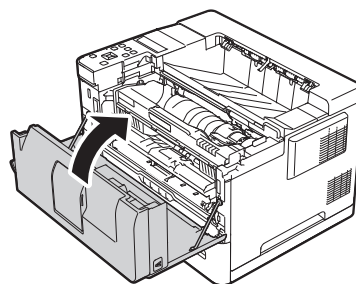
5. A1 部を閉じる



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

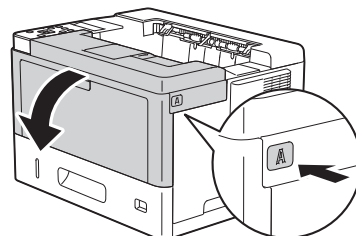


7. フロントカバーを閉じる

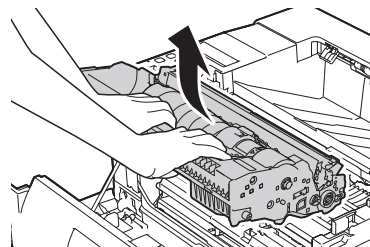


A2 部の下に用紙が詰まっている場合

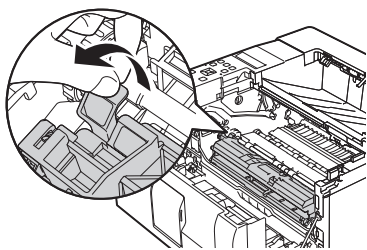
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



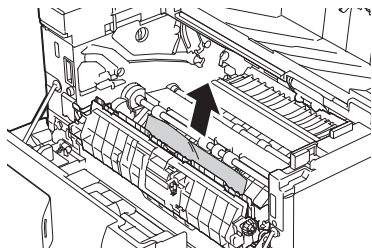
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



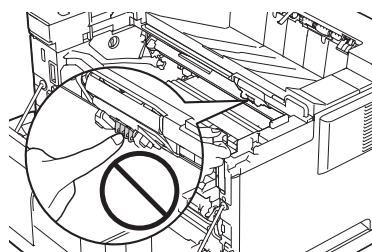
- 3.** A2 部を手前に開け、閉じないように手で押さえる



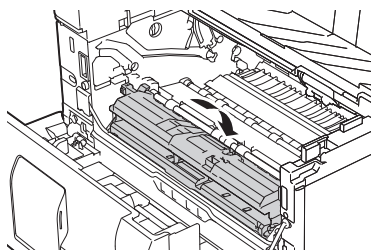
- 4.** 詰まっている用紙を取り除く



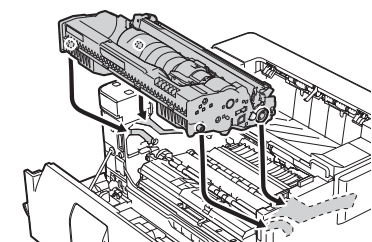
●端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



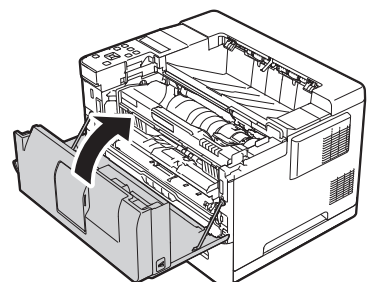
- 5.** A2 部を閉じる



- 6.** ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

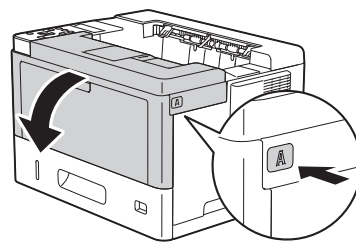


- 7.** フロントカバーを閉じる

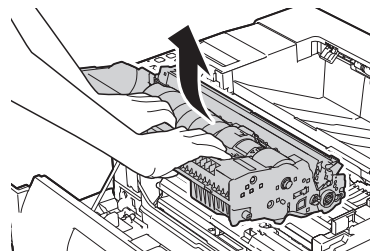


用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合

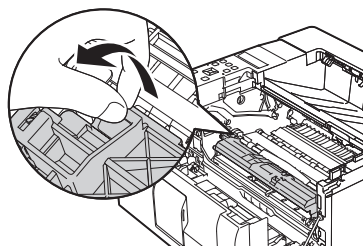
- 1.** A ボタンを押して、フロントカバーを開ける



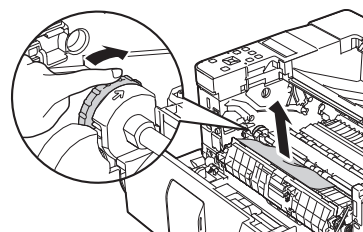
- 2.** ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置く



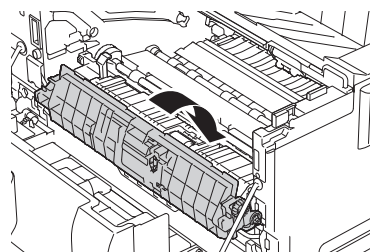
- 3.** A1 部を手前に開け、閉じないように手で押さえる



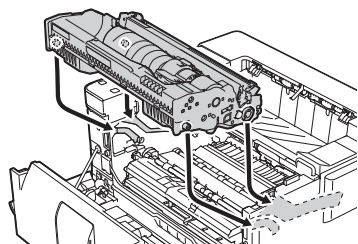
- 4.** 図の位置にある緑色のホイールを奥側に回し、詰まっている用紙を引き出して取り除く



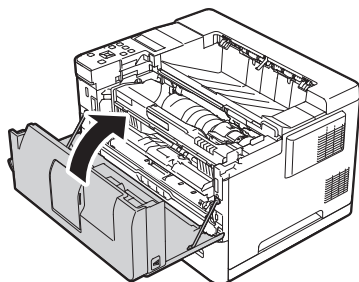
- 5.** A1 部を閉じる



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込む

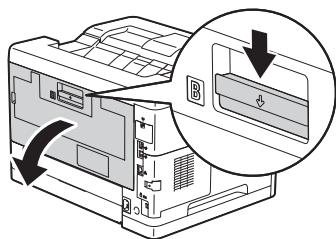


7. フロントカバーを閉じる



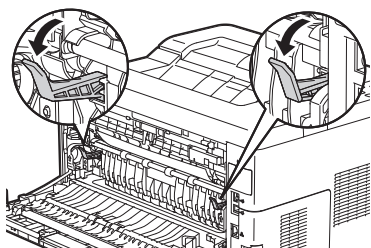
リアカバー [B] での紙づまり

1. B レバーを押して、リアカバーを開ける



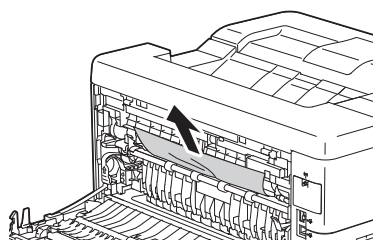
- 💡 ●フェイスアップトレイ (オプション) を装着している場合は、リアカバーを開ける前に取り外してください。

2. 定着ユニットの両端にある緑色のレバーを下げる

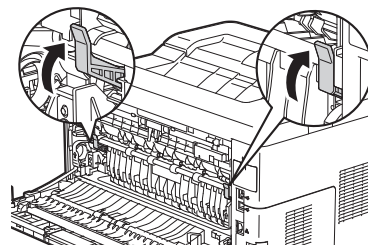


- 💡 ●定着ユニットは高温になっています。触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

3. 詰まっている用紙を取り除く



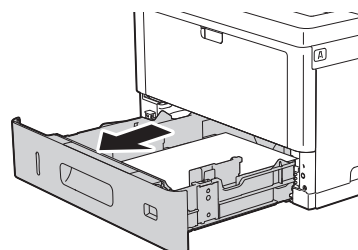
4. 緑色のレバーを戻す



5. リアカバーを閉じる

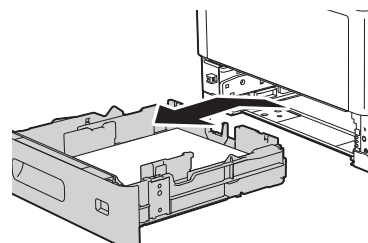
用紙トレイ 1 ～ 4 での紙づまり 両面シュートに用紙が詰まっている場合

1. 用紙トレイ 1 を引き出す

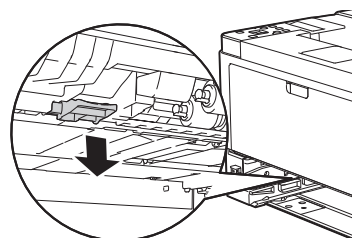


- 💡 ●用紙トレイ 2 ～ 4 はオプションです。
●メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから順に確認してください。
●2 つ以上のトレイを同時に引き出さないでください。本機が転倒する可能性があります。

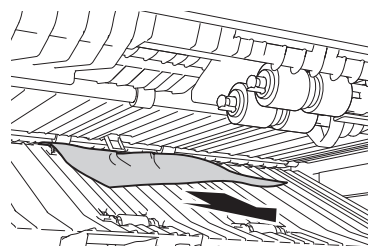
2. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜く



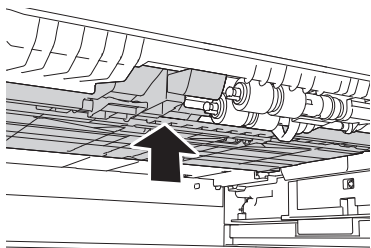
3. 図の位置にある緑色のレバーを押して両面シュートを下ろす



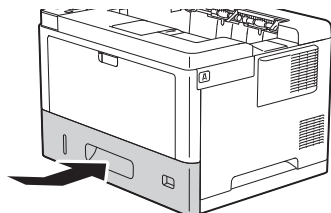
4. 詰まっている用紙を取り除く



5. 両面シュートを戻す

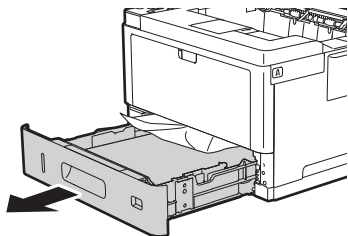


6. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ1をゆっくりと押し込む



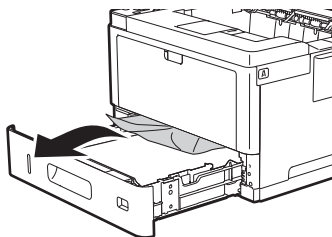
用紙トレイ内に用紙が詰まっている場合

1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出す



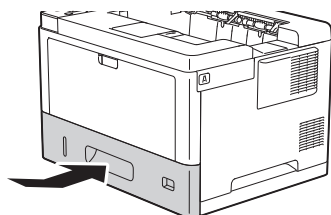
- 💡 ● 紙詰まりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。

2. 詰まっている用紙を取り除く



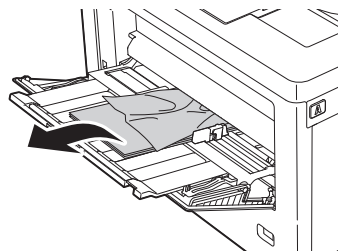
- 💡 ● 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込む



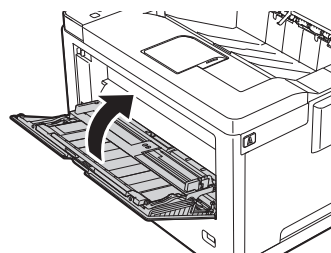
手差しトレイでの紙詰まり

1. 手差しトレイから、詰まっている用紙とセットしてある用紙を取り除く

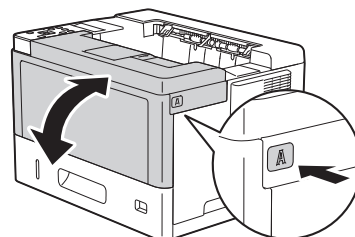


- 💡 ● 用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。
● 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

2. 手差しトレイを閉じる



3. Aボタンを押してフロントカバーを開け、閉じる



安全にご利用いただくために

プリンターを安全にご利用いただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される場所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

安全にかかわる表示

各警告図記号は以下のような意味を表しています。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。
△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。  静電気破壊注意  注意  発火注意  破裂注意  感電注意  高温注意  回転物注意  指挟み注意	
○記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。  禁止  火気禁止  接触禁止  風呂等での使用禁止  分解禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止	
●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。  指示  電源プラグを抜け  アース線を接続せよ	

安全上のご注意

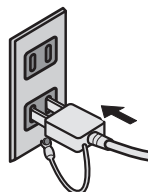
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

電源およびアース接続時の注意

警告



電源コードのアース線を取り付ける



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを850mm以上の地中に埋めたもの
- ・接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、設置接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

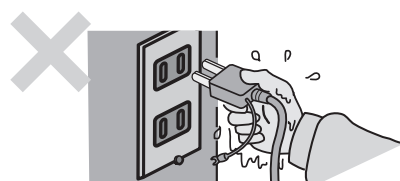
ご使用になる電源コンセントのアース線をご確認ください。アースが取れない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発のおそれがあります）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

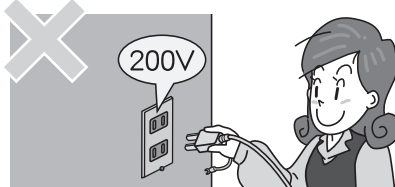


ぬれた手で電源プラグを触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

プリンターの定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。プリンターの定格電圧値および定格電流値は、プリンター背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

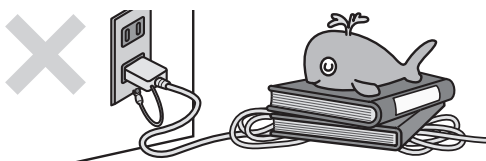
専用電源コード以外は使わない



プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

⚠ 注意

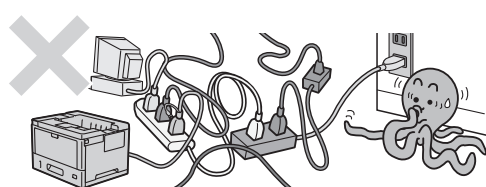
電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のサービス窓口または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

延長コードを使わない

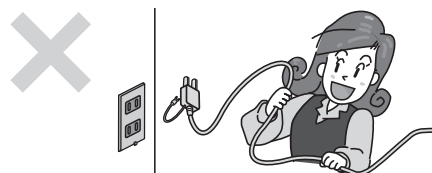


添付のコードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のサービス窓口または販売店にご相談ください。

添付の電源コードを他の装置や用途に使わない
添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

清掃を行う場合は電源プラグを抜く
プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置時の注意

⚠ 警告

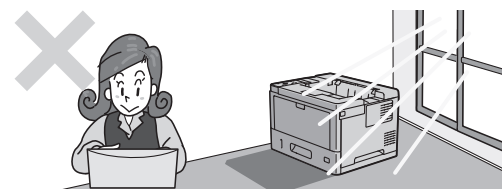
電源コードを踏まない場所に設置する
プリンターは、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

発熱器具に近い場所には設置しない
以下のような場所にはプリンターを設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど

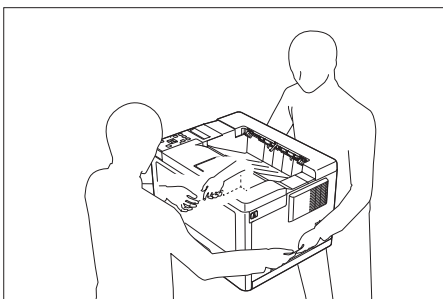
⚠ 注意

直射日光が当たるところには置かない



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

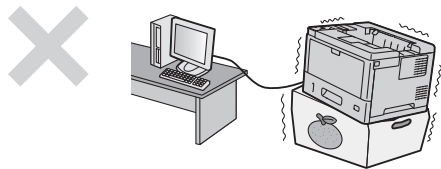
プリンターを運ぶときは2人以上で



プリンターの質量は、MultiWriter 8800 : 20.2 kg、MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 : 18.6 kg（本体のみ、消耗品を含む）です。

プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右の手かけ部分を、2人でしっかりと持ってください。指示した場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

不安定な場所に置かない

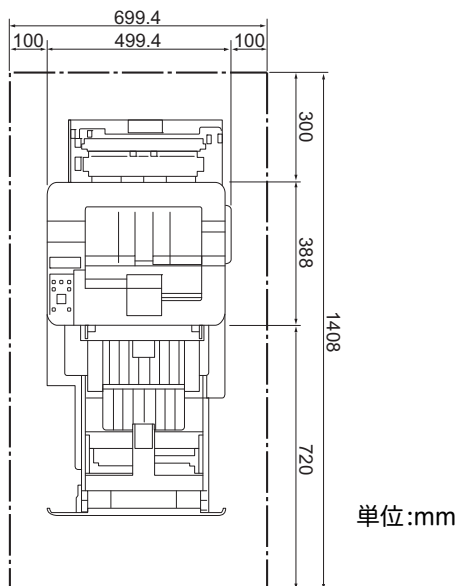


プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

設置時は周囲のスペースを確保し通気口はふさがらない

プリンターには通気口があります。プリンターの通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

プリンターを安全に正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、プリンターの異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



プリンターを傾けない



プリンターを10度以上に傾けないでください。転倒などによるけがの原因となるおそれがあります。

キャスターのストッパーは必ずロック

プリンターを設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、プリンターが思わぬ方向に動き、けがの原因となるおそれがあります。

機械使用上の注意

警告

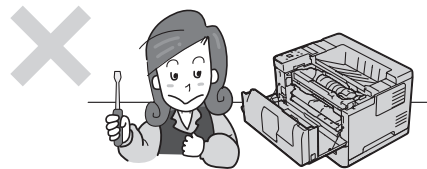


定着ユニットの安全性

定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合にはお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬけがをするおそれがあります。



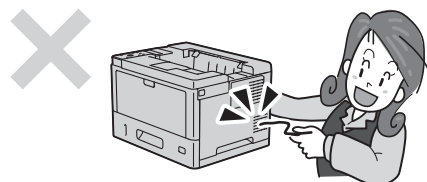
分解・修理・改造しない



マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



プリンター内に異物を入れない



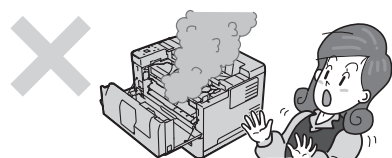
プリンターの隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、プリンターの上に置かないでください。

- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・クリップやホチキスの針などの金属類
- ・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むとプリンター内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



煙や異臭、異音がしたら電源OFF



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・プリンターから発煙したり、プリンターの外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・プリンターの内部に水が入ったとき
- ・プリンターが水をかぶったとき
- ・プリンターの部品に損傷があったとき



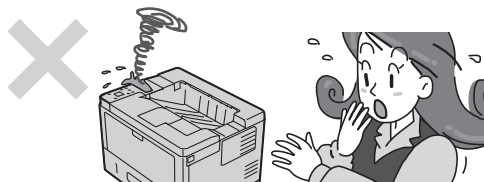
電気を通しやすい紙は使用しない

電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

スプレータイプのクリーナーは使用しない
プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

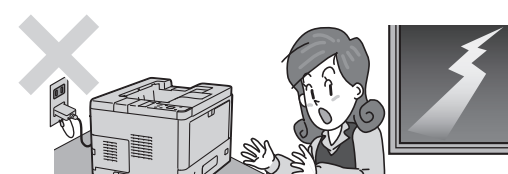
CD-ROM対応プレイヤー以外では使用しない
付属のCD-ROMをCD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴り出したらプリンターに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

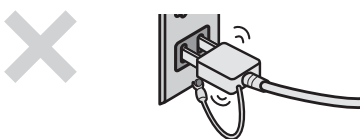
落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。

電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

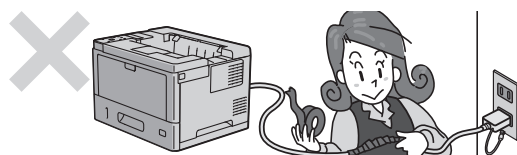
電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったり、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

⚠ 注意

破損した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

インターロックスイッチを無効にしない

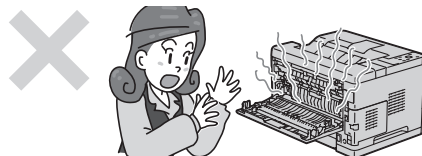
プリンターのインターロックスイッチを無効にしないでください。プリンターのインターロックスイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。プリンターが作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

プリンター内部の詰まった用紙は無理に取り除かない

プリンター内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

高温注意



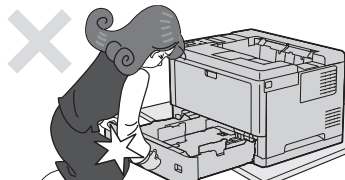
プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部分があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



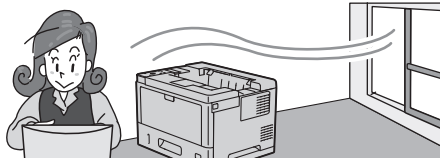
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

用紙カセットを勢いよく引き出さない



用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

！ 換気や通風を十分行う



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

△ 警告

！ 消耗品は正しく保管する

消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

⊘ 掃除機でトナーを吸い取らない



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

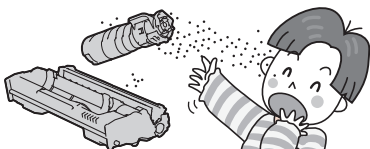
⊘ トナーカートリッジを火の中に投げ入れない



トナーカートリッジやドラムカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジやドラムカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやドラムカートリッジは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

△ 注意

！ トナーカートリッジは、幼児の手が届かない場所に保管する



トナーカートリッジやドラムカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

！ トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない



トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

！ トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置

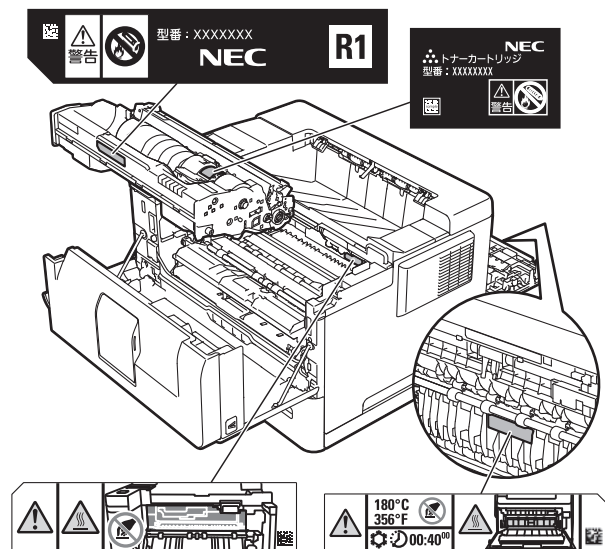
次の事項に従って、応急処置をしてください。

- ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

！ 機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高压注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



規制について

⚠ 警告



- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
 - ・本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
 - ・本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・化学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - ①構内無線局（免許を要する無線局）
 - ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。
- ・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
 - ・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。
- ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。
 - ・その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

⚠ 注意



電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われる場合は、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

SDS(安全データシート)の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

環境について

- ・サポートについて
弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。
- ・粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物(TVOC)の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。
- ・回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にお渡しください。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ・株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ・各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - ・契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ・推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ・役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ・私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製
紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

(2) 改変

紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを削除、書き換え、切り貼りすることなど。

(3) 送信

電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※法律に定める例外にあたる場合の例

- ・ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とし複製する場合。
- ・ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ・ 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

無線LAN 製品使用時のセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- ・ 通信内容を盗み見られる悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- ・ 不正に侵入される悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

NEC MultiWriter をご購入のお客さまへ

～ 製品本来の性能でお使いいただくために ～

『有寿命部品（有償）』の交換が必要です

NEC 製プリンタでは、その機能・性能を維持するために、印刷ページ数に応じて交換を必要とする部品があり、これを『有寿命部品』※と呼びます。

有寿命部品とは、紙を送り出すローラー部分など、印刷を重ねるたびに磨耗・劣化が避けられない部品のことです。有寿命部品の推奨交換周期（寿命の目安）を超えて使用し続けると、紙詰まりの多発や印刷ムラ・汚れなど、トラブルの元になってしまう可能性があります。

有寿命部品の推奨交換周期（寿命の目安）は、印刷ページ数によって設定されております。

有寿命部品を推奨交換周期ごとに交換する場合には、保守契約締結の有無や無償保証期間内か否かに関わらず、部品は有償とさせていただきますのでご了承ください（一部の機種につきましては、有寿命部品代金を含んだ保守メニューもご用意しております）。

お客さまにご使用いただいている MultiWriter の有寿命部品とその推奨交換周期につきましては、NEC Web サイト (<http://www.nec.co.jp/products/laser/>) をご参照いただくか、MultiWriter をお買い求めの販売店、もしくは保守サービス会社までお問い合わせください。

※ 「有償交換部品」「定期交換部品」という場合もあります。

消耗品は NEC 純正品のご使用をおすすめします

NEC 純正の消耗品（トナーカートリッジなど）は、MultiWriter の動作・印刷品質がもっとも安定するように、MultiWriter 専用に開発・設計された商品です。

プリンタの性能を維持し、安定・快適な出力環境を得るため、NEC 純正の消耗品をご使用されることをおすすめいたします。

NEC 純正品ではない消耗品をお使いになり、その商品が原因でトラブルが起きた場合の対応は、保守契約締結の有無や無償保証期間内か否かに関わらず、有償修理となる場合がございますので、ご注意ください。

本装置の有寿命部品及び消耗品の一覧を次のページに示します。

本装置の有寿命部品（有償交換部品、定期交換部品）

プリンタ型番	品名	推奨交換周期※1	個数※2	適用	指定※3
PR-L8800/ PR-L8700	定着ユニット（8700/8800）	約 100,000 ページ	1	プリンタ本体	126K 3790*
PR-L8600	定着ユニット（8600）	約 100,000 ページ	1	プリンタ本体	126K 3789*
PR-L8800/ PR-L8700/ PR-L8600	100K キット	約 100,000 ページ	1	プリンタ本体	607K 1339*
PR-L8800/ PR-L8700/ PR-L8600	用紙搬送ロールキット （オプショントレイ用）	約 100,000 ページ	1	トレイモジュール （250） トレイモジュール （550）	607K 1336*
PR-L8800	600K キット（8800）	約 600,000 ページ	1	プリンタ本体	607K 1338*
PR-L8700/ PR-L8600	600K キット（8600/8700）	約 600,000 ページ	1	プリンタ本体	607K 1348*

※1：「推奨交換周期」は、A4 □の普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度、通電時間などにより大きく異なる場合があります。

※2：「個数」欄に記載された数字は、1回あたりに交換する個数を表します。

※3：「指定」欄に記載の番号は識別用です。

- 品名、および指定は変更される場合がありますので、NEC Web サイト（<http://www.nec.co.jp/products/laser/>）をご参照いただくか、MultiWriter をお買い求めの販売店、もしくは保守サービス会社までお問い合わせください。
- 有寿命部品の参考価格につきましては、NEC Web サイト（<http://www.nec.co.jp/products/laser/>）をご参照ください。また、実際の部品価格はその都度、MultiWriter をお買い求めの販売店、もしくは保守サービス会社まで直接お問い合わせください。
- 有寿命部品の交換は保守サービス会社にて実施いたします。安全上の理由等により、お客様ご自身による交換は行わないでください。
- 有寿命部品は保守契約を締結されている場合であっても有償になります（一部の機種につきましては、有寿命部品代金を含んだ保守メニューもご用意しております）。

本装置の消耗品

プリンタ型番	品名	プリント可能枚数	個数※3	消耗品型番
PR-L8800/PR-L8700/PR-L8600	トナーカートリッジ（6000 枚）	約 6,000 ページ※1	1	PR-L8700-11
PR-L8800/PR-L8700/PR-L8600	トナーカートリッジ（10000 枚）	約 10,000 ページ※1	1	PR-L8600-12
PR-L8800/ PR-L8700	トナーカートリッジ（15000 枚） （MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 専用）	約 15,000 ページ※1	1	PR-L8700-12
PR-L8600	ドラムカートリッジ （MultiWriter 8600 専用）	約 40,000 ページ※2	1	PR-L8600-31
PR-L8800/ PR-L8700	ドラムカートリッジ （MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 専用）	約 40,000 ページ※2	1	PR-L8700-31

※1：JIS X 6931（ISO/IEC 19752）に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なる場合があります。

※2：プリント可能ページ数は、A4 □、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 4 枚（MultiWriter 8800 の場合。MultiWriter 8700 は 3 枚、MultiWriter 8600 は 2 枚）として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以上になる場合があります。

※3：「個数」欄に記載された数字は、1 台あたりに使用されている個数を表します。

●本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は、約 3,000 ページです。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- ・ 契約保守

年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。

- ・ 出張修理

サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 *1
		保証 期間内	保証 期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィール ディング (株)
スポット保守 (出張修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 *3	修理料 + 出張料	そのつど 清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットのWebページ

<https://www.fielding.co.jp/per/index.html>

をご覧ください。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

*2 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。

*3 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内のお出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットのWebページ

<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>

をご覧ください。

